

平成29年度第1回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日 時：平成29年4月26日（水） 13：15～14：15

場 所：各コア校（遠隔会議システム利用）

議 題：

1. ネットワークコア運営協議会の構成員等について

- ・平成29年度ネットワークコア運営協議会構成員名簿（案） 【資料1-1】…1
- ・ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿（案） 【資料1-2】…3
- ・ネットワークコア運営協議会SD専門部会名簿（案） 【資料1-3】…5
- ・ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ 【参考資料1-1】…7
- ・ネットワークコア運営協議会FD専門部会要項 【参考資料1-2】…9
- ・ネットワークコア運営協議会SD専門部会要項 【参考資料1-3】…11

2. SPODフォーラム2017について

- ・SPODフォーラム2017の開催について（案） 【資料2-1】…13
- ・SPODフォーラム2017プログラム（案） 【資料2-2】…15
- ・SPODフォーラム2017ポスター発表募集要領（案） 【資料2-3】…17
- ・SPODフォーラム2017ポスター発表募集要領送付先リスト 【資料2-4】…21
- ・SPODフォーラム2017シンポジウム概要 【参考資料2】…23

3. SPOD事業評価について

- ・平成28年度SPOD事業の評価について 【資料3】…25
- ・事業評価シート 【参考資料3-1】…31
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会要項 【参考資料3-2】…41
- ・平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」（SPOD）事業評価委員会実施要項 【参考資料3-3】…43

4. 平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会及びFD／SD分科会について

- ・平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会議事概要 【資料4-1】…45
- ・「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿 【資料4-2】…47
- ・平成29年度SPOD事業計画 【資料4-3】…49
- ・SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について 【資料4-4】…51
- ・平成29年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算 【資料4-5】…53
- ・平成29年度共同事業契約における役割分担等について 【資料4-6】…57
- ・SPODにおけるFDについて 【資料4-7】…61

- ・ S P O Dにおける S Dについて 【資料 4－8】 … 6 3
 - ・ 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員名簿 【資料 4－9】 … 6 5
 - ・ 平成 2 8 年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 F D 分科会議事概要
【資料 4－1 0】 … 6 7
 - ・ 平成 2 8 年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」 S D 分科会議事概要
【資料 4－1 1】 … 7 1
5. 平成 2 8 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査結果について
- ・ 平成 2 8 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要【資料 5】 … 7 5
6. 研修プログラムガイド 2 0 1 7 について
- ・ S P O D 研修プログラムガイド 2 0 1 7 掲載プログラム一覧（日程別） 【資料 6】 … 7 9
7. 平成 2 9 年度 S P O D 加盟校内講師派遣について
- ・ 平成 2 9 年度 S P O D 加盟校内講師派遣プログラム一覧 【資料 7】 … 8 1
8. 平成 2 9 年度大学人・社会人基礎力養成プログラム研修（レベル I）【新任職員研修】について
- ・ 平成 2 9 年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベル I）
【新任職員研修】実施要項 【資料 8】 … 8 3
9. 平成 2 9 年度次世代リーダー養成ゼミナールの開催について
- ・ 平成 2 9 年度次世代リーダー養成ゼミナール実施要項 【資料 9】 … 8 5

平成29年度 ネットワークコア運営協議会構成員名簿(案)

平成29年4月1日現在

大学名	所 属	氏 名	担当	FD専門部会委員	SD専門部会委員
徳島大学	総合教育センター教育改革推進部門 教授	川野 卓二	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 講師	吉田 博	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 助教	新原 将義	FD	○	
	総合教育センター教育改革推進部門 特任研究員	上岡 麻衣子	FD・事務		
	総務部人事課長	濱田 光男	SD		○
	総務部人事課副課長	荒木 俊典	SD		○
	学務部教育支援課教育企画室長	福川 利夫	事務		
	学務部教育支援課専門職員	金治 志津子	事務		
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部長・教授	石井 知彦	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	FD	○	
	大学教育基盤センター能力開発部 講師	西本 佳代	FD	○	
	教育・学生支援室修学支援グループ サブリーダー	庵原 浩司	FD	○	
	経営管理室給与福利グループ リーダー	澤井 行広	SD		○
	経営管理室給与福利グループ チーフ	石田 和一	SD		○
	教育・学生支援室学務グループ リーダー	尾松 俊嗣	事務		
	教育・学生支援室学務グループ サブリーダー	圖子 晴久	事務		
	教育・学生支援室学務グループ サブリーダー	中屋敷 美和	事務		
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	山本 英和	事務		
	教育・学生支援室学務グループ チーフ	安岡 嗣美	事務		
	教育・学生支援室学務グループ	有馬 善江	事務		
高知大学	大学教育創造センター 教授	塩崎 俊彦	FD	○	
	大学教育創造センター 准教授	立川 明	FD	○	
	大学教育創造センター 特任准教授	杉田 郁代	FD	○	
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	FD	○	
	人事課長	沖 淳二	SD		○
	人事課労務管理係長	廣瀬 暢彦	SD		○
	人事課労務管理係係員	河瀬 由香里	SD		
	学務課課長補佐	西田 浩敏	事務		
	学務課総務係長	井上 博文	事務		
	学務課総務係事務補佐員	高橋 智子	事務		
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人	議長・FD	○	
	教育企画室 講師	村田 晋也	FD	○	
	教育企画室兼総合情報メディアセンター教育デザイン室長 講師	仲道 雅輝	FD		
	教育企画室 特定研究員	加地 真弥	FD		
	教育企画室 特任助教	小林 忠資	FD		
	教育企画室 教授	中井 俊樹	SD		○
	教育企画室 講師	清水 栄子	SD		○
	教育企画室兼学生支援センター 講師	阿部 光伸	SD		
	教育企画室 特任助教	丸山 智子	SD		
	総務部人事課長	秋谷 恵子	SD		○
	総務部人事課副課長	米田 健	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チームリーダー	石川 尚	SD		
	総務部人事課人事・人材育成チーム	古村 翔	SD		
	教育学生支援部長	佃 雅之	事務		
	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田 一恵	SD		○
	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦	FD・事務	○	
	教育学生支援部教育企画課副課長	河野 太志	SD・事務		○
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームリーダー	五貫 恵美	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームサブリーダー	藤原 力	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	松崎 由里子	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	八丈野 真子	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	藤井 朋子	事務		
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	寺尾 いずみ	事務		

ネットワークコア運営協議会の構成員に関する申合せ(抄)
(組織)第2 協議会は、次の(1)～(4)に掲げる構成員をもって組織する。

- (1) 議長
- (2) 各コア校のFD担当者
- (3) 各コア校のSD担当者
- (4) 各コア校の事務担当者

ネットワークコア運営協議会FD専門部会名簿(案)
(平成29年4月1日現在)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二	第3条第1号委員
	総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳	第3条第1号委員
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博	第3条第1号委員
	総合教育センター教育改革推進部門 助教	新原 将義	第3条第1号委員
香川大学	大学教育基盤センター能力開発部 教授	石井 知彦	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	葛城 浩一	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 准教授	佐藤 慶太	第3条第1号委員
	大学教育基盤センター能力開発部 講師	西本 佳代	第3条第1号委員
	教育・学生支援室修学支援グループ サブリーダー	庵原 浩司	第3条第1号委員
高知大学	大学教育創造センター 教授	塩崎 俊彦	第3条第1号委員
	大学教育創造センター 准教授	立川 明	第3条第1号委員
	大学教育創造センター 特任准教授	杉田 郁代	第3条第1号委員
	大学教育創造センター(兼務) 講師	俣野 秀典	第3条第1号委員
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長・教授	小林 直人	第3条第1号委員
	教育企画室 講師	村田 晋也	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦	第3条第2号委員

※オブザーバー除く

ネットワークコア運営協議会SD専門部会名簿(案)

(平成29年4月1日現在)

大学名	所 属	氏 名	備 考
徳島大学	総務部人事課長	濱田 光男	第3条第1号委員
	総務部人事課副課長	荒木 俊典	第3条第1号委員
香川大学	給与福利グループリーダー	<u>澤井 行広</u>	第3条第1号委員
	給与福利グループチーフ	石田 和一	第3条第1号委員
高知大学	人事課長	<u>沖 淳一</u>	第3条第1号委員
	人事課 <u>労務管理係長</u>	<u>廣瀬 暢彦</u>	第3条第1号委員
愛媛大学	教育企画室 教授	中井 俊樹	第3条第1号委員
	教育企画室 講師	清水 栄子	第3条第1号委員
	総務部人事課長	秋谷 恵子	第3条第1号委員
	教育学生支援部教育企画課副課長	<u>河野 太志</u>	第3条第2号委員
	<u>愛媛大学SD統括コーディネーター</u>	吉田 一恵	第3条第3号委員

※オブザーバー除く

SPODフォーラム2017の開催について（案）

（趣旨）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の企画として、SPODの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

（日時・会場）

日時 平成29年8月23日（水）～ 8月25日（金）

会場 徳島大学 常三島キャンパス（徳島市南常三島町1丁目1番地）

（全体テーマ）

~~“Feeling”~~と~~“Thinking”~~を~~“Learning”~~につなげる
Feeling Thinking Learning

（シンポジウム）

学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援

（参加対象者）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
※SPOD加盟校の参加者を優先する。
※民間企業に勤務している方の参加はお断りする。

（内容）

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

（研修料）

1. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟校の教職員 無料
2. 1. 以外で、高等教育機関に所属している方及び高等教育行政に携わっている方
10,000円

（今後のスケジュール（予定））

4月25日（火）	各コア校が担当するコマのタイトル・講師等の提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月上旬	ポスターセッション案内（SPOD加盟校を含む関係機関）
5月17日（水）	ポスターセッション申込開始
5月19日（金）	シラバスの提出期限 （提出先：SPOD事務局（愛媛大学教育企画課））
5月25日（木）（予定）	ネットワークコア運営協議会においてプログラム最終確認
6月上～中旬	案内チラシ作成
6月 8日（木）	ポスターセッション申込締切（状況に応じ申込期間延長）
6月中旬	案内文書送付（SPOD加盟校を含む全国の大学）
6月22日（木）正午	SPOD加盟校向け参加申込開始
7月 7日（金）正午	SPOD加盟校向け参加申込締切
7月10日（月）正午	SPOD加盟校外講師及びポスターセッション（代表者のみ）
7月11日（火）正午	参加プログラム申込
7月13日（木）正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み開始
7月27日（木）正午	全国の大学（SPOD加盟校含む）の参加申込み締切
8月上旬	二次募集（応募状況による）
8月23日～25日	SPODフォーラム2017開催

（事務担当）徳島大学学務部教育支援課、SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

（備考）8月23日にFD担当者研修実施予定

SPODフォーラム2017 プログラム案

資料 2 - 2

統一テーマ:「 FeelingとThinkingをLearningにつなげる 」

2017.4.23現在

第1日目<8月23日(水)>

		A	B	C	D	E	F
		4-202 WS型50名程度	4-403・404 講義型(150名) WS型60名程度	4-302 WS型50名程度	4-402 WS型50名程度	COCフューチャーセンター WS型30名程度	COC-301 WS型20名程度
10:00~12:00 120分	1	職員対象 2301A 愛媛 若手職員のための キャリア形成入門 【織田隆司】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2301B 愛媛 (教学IR入門) 【清水栄子】 【愛媛大学】	教員対象 2301C 徳島 反転授業を やってみよう 【金西計英】 【徳島大学】	教員・職員対象 2301D 愛媛 教職員のための大学の危機管理 —事例から考えるハラスメント— 【吉田一恵・高木佳代子】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2301E 徳島 コミュニケーション の基礎 【三隅友子】 【徳島大学】	教員・職員対象 2301F 徳島 愛媛 FD担当者研修 【宮田政徳・吉田博】 【徳島大学】 【中井俊樹・小林忠資】 【愛媛大学】
12:00~13:00	昼						
13:00~15:00 120分	2	職員対象 2302A [SPOD次世代リーダー 研修7期生担当プログラム]	教員・職員対象 2302B 愛媛 大人数講義のコツ (とくに授業初心者のため の) 【小林直人】 【愛媛大学】	教員対象 2302C 香川 始めよう! アクティブ・ラー ニング型授業—協同学習入門 編— 【葛城浩一】 【香川大学】	職員対象 2302D 愛媛 社会連携系プログラム 【前田眞】 【愛媛大学】	教員対象 2302E 愛媛 ジグソー学習法を用いた グループワークの進め方 【村田晋也】 【愛媛大学】	
15:30~17:30 120分	3		教員対象 2303B 徳島 質問を変えると 授業が変わる?! 【川野卓二】 【徳島大学】	教員対象 2303C 香川 学生参加型授業の技法 【西本佳代】 【香川大学】	職員対象 2303D 香川 ダイバーシティの推進につ いて 【村上弥生】 【香川大学】	教員対象 2303E 高知 ルーブリック評価入門 【俣野秀典】 【高知大学】	
17:40~19:00		ポスターセッション (COC1階コモンラウンジ) テーマ「FD・SD全般」					

第2日目<8月24日(木)>

		4-202 WS型50名程度	4-403・404 講義型(150名) WS型60名程度	4-302 WS型50名程度	4-402 WS型50名程度	COCフューチャーセンター WS型30名程度	COC-301 WS型20名程度
10:00~12:00 120分	1	職員対象 2401A 加盟校外 職員のための 実践値の共有(仮) 【宮林常崇】 【首都大学東京】	教員対象 2401B 加盟校外 学年間のつながりを生み出 す学習環境デザイン 【山田嘉徳】 【大阪産業大学】	教員・職員対象 2401C 加盟校外 主体的な学生を育成する際 に必要な教職員の能力 【岸岡奈津子】 【追手門学院大学】	職員対象 2401D 加盟校外 若手、中堅職員のための キャリア形成ワークショップ 【秦敬治】 【追手門学院大学】	教員対象 2401E 加盟校外 徳島 理工系講義形式授業において 学生の学習を促進する授業デ ザイン 【榊原暢久・吉田博】 【芝浦工業大学】【徳島大学】	教員・職員対象 2401F 徳島 科研費に挑戦してみよう ～奨励研究応募のススメ～ 【角村法久】 【徳島大学】
12:00~13:00	昼						
13:00~15:00 120分	2	職員対象 2402A 愛媛 職場の協働性をどう高める か 【丸山智子】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2402B 加盟校外 トップリーダーセミナー 【川島啓二】 【九州大学】	教員対象 2402C 加盟校外 (学習評価関連) 【山田剛史】 【京都大学】	職員対象 2402D 高知 学生支援に必要な カウンセリングの基礎 ～ポジティブ心理学の視点 ～ 【杉田 郁代】 【高知大学】	教員対象 2402E 加盟校外 教育実践を研究にする 【佐藤浩章】 【大阪大学】	教員対象 2402F 高知 ディープラーニングに誘うア クティブ・ラーニングの手法 【立川明】 【高知大学】
15:30~17:30 120分	3	シンポジウム「 学生が感じ、考え、それを学びにつなげる教育と学習支援 」 パネリスト: [秦敬治] [追手門学院大学] [俣野秀典] [高知大学] [佐々木奈三江] [徳島大学] 指定討論: [小林直人] [愛媛大学] 司会進行: [宮田政徳] [徳島大学] (地域連携ホール けやきホール)					
18:00~20:30		情報交換会 (生協食堂 きらら) 余興:阿波踊り (参加者の方への踊りのレッスン・踊りの体験を含みます)					

第3日目<8月25日(金)>

		4-202 WS型50名程度	4-403・404 講義型(150名) WS型60名程度	4-302 WS型50名程度	4-402 WS型50名程度	COCフューチャーセンター WS型30名程度	COC-301 WS型20名程度
10:00~12:00 120分	1	職員対象 2501A 愛媛 管理者の評価研修 【阿部光伸】 【愛媛大学】	教員・職員対象 2501B 高知 経験を学びに変える 【塩崎俊彦】 【高知大学】	教員対象 2501C 香川 始めよう! アクティブ・ラー ニング型授業—協同学習・図 解の技法編— 【中住幸治】 【香川大学】	教員・職員対象 2501D 加盟校 障害学生への配慮・支援 【青野透】 【徳島文理大学】	教員対象 2501E 加盟校外 学生の意欲を促進 する授業設計 【川瀬和也】 【宮崎公立大学】	職員対象 2501F 加盟校外 学びを促す学生対応の 実践知を増やそう 【竹中喜一】 【関西大学】
12:00~13:00	昼						
13:00~15:00 120分	2	職員対象 2502A 加盟校外 大学グローバル化と職員の英語 力:大学職員が自分の英語学習 力をどう高めるのか 【福田スティーブ利久】 【文政大学】 ※13:00~14:30のプログラム	教員・職員対象 2502B 徳島 「発達の場」としての授業デ ザイン—パフォーマンス心理 学入門— 【新原将義】 【徳島大学】	教員対象 2502C 徳島 グラフィック シラバスの書き方 【宮田政徳】 【徳島大学】	教員・職員対象 2502D 徳島 実践的インターンシップ 導入のススメ 【川崎克寛】 【徳島大学】	教員対象 2502E 愛媛 看護教員のための 教授法入門 【小林忠資】 【愛媛大学】	職員対象 2502F 徳島 学務系職員の基礎力講座 —教職協働における事務職 員の役割— 【三好信幸・福川利夫・ 宮川純子】 【徳島大学】

受付・クローク:4号館4-201

展示・休憩スペース:COC1階コモンラウンジ、講師控室:4号館4-204

「SPOD フォーラム 2017」ポスター発表募集要領（案）

* ポスターセッションの日時

日 程	8 月 23 日（水）
発表時間	発表番号奇数 17:40－18:20 発表番号偶数 18:20－19:00
会 場	徳島大学地域創生・国際交流会館 1 階コモンラウンジ
備 品	1 人分（机 1 台・椅子 1 脚・パネル 1 枚）
備 考	ポスター設置 8 月 23 日（水）13:00－15:30 優秀賞発表 8 月 24 日（木）情報交換会時 ポスター撤去 8 月 25 日（金）13:00－15:00

* ポスター発表のトピック

FD・SD の実践的知識の共有化に資する内容を幅広く募集します。

- カテゴリー FD・SD 一般

* ポスター発表申込み方法

発表申込み受付期間は 5 月 17 日（水）－6 月 8 日（木）17:00 とします。

期間内に、SPOD ホームページにポスターセッション申込みフォームを設けますので、申込みフォームからお申し込みください。

SPOD ホームページ URL : <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

なお、申込時には以下の項目を申込みフォームからご回答いただきます。

① 発表代表者の

氏名・ふりがな・所属・連絡先（メール及び電話）・8/24 情報交換会出欠

② 共同発表者の

氏名・ふりがな・所属・連絡先（メール及び電話）

③ 発表テーマ（サブタイトル含め 25 字以内）

・会場の都合上、**先着 30 件まで**とし、申込み後、発表可否についてご連絡いたします。

・ポスター発表にお申込みいただいた方も、SPOD フォーラムの他のプログラムへの参加登録は SPOD の Web サイト（URL : <https://www.spod.ehime-u.ac.jp/>）より別途行ってください。メールでの受付は行っておりませんのでご注意ください。SPOD 加盟校の教職員は 6 月下旬より、SPOD 加盟校以外の教職員は 7 月中旬より、上記 Web サイトよりフォーラムへの申込みが可能です（日時の詳細については、6 月下旬までに発表代表者様宛にお知らせします）。

* ポスター発表規定等

1) ポスターセッションに関する規定

展示パネルのサイズ（掲示可能）は、1 発表あたり縦 210cm×横 90cm 以内。

備考：参加者からの投票による優秀ポスター賞を選出いたします。

結果発表・表彰式は、8 月 24 日（木）の情報交換会（18:00－20:30）内にて行います。

2) ポスター設置について

- ・ポスターセッション会場は、地域創生・国際交流会館 1 階コモンラウンジです。
- ・各発表につき、事務局でポスターボード一面、机・椅子（可動式）、マグネット（または画鋲）をご用意いたします。全体受付（教養教育 4 号館の 201 講義室）にて、設置箇所について案内いたします。受付で詳細をおたずねください。
- ・ポスター設置は、8 月 23 日（水）13:00－15:30 に行ってください。
（ポスターセッションの日時 8 月 23 日（水）17:40－19:00）

3) ポスター撤去について

- ・ポスターの撤去時間については、25 日（金）13:00－15:00 をお願いします。優秀ポスター賞の表彰式を行う情報交換会（24 日（木）18:00－20:30）後にも各ポスターに関する交流を参加者間で行っていただきたいためです。
- ・なお、上記時間での撤去が難しい場合は、事前に撤去希望時間をお知らせください。
- ・15:00 過ぎても撤去が完了していない場合、その後の対応は事務局に一任していただきます。あしからずご了承ください。

4) 当日の発表対応について

- ・受付にて発表番号をお伝えいたします。奇数番号の発表者は 17:40－18:20、偶数番号の発表者は 18:20－19:00 の間、必ずポスターの前で来場者への質問対応をお願いします。当日の質問対応が不可能な場合は、必ず事前にお知らせください。
- ・当日は、参加者からの投票によって優秀ポスター賞を選出いたします。結果発表・表彰式は、情報交換会（24 日（木）18:00－20:30）内にて行います。情報交換会に欠席の場合は、後日、受賞について事務局よりご連絡いたします。
- ・記録・広報用に各ポスター、会場の様子の写真撮影、ホームページ等への掲載を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＊フォーラム参加費用

発表 1 件に対して発表代表者 1 名分のフォーラム参加費は無料です。
共同発表者の参加費は、お支払いいただくことになります。参加費は、以下のとおりです。なお、当日ポスターセッションのみの参加の場合もお支払いいただきますのでご注意ください。

SPOD 加盟校の教職員	無料
SPOD 加盟校以外の教職員	10,000 円

※情報交換会への参加費（4000 円程度を予定）は、発表代表者も含め別途、お支払いいただくことになります。

＊旅費

各大学等でご負担下さい。

*会場 徳島大学地域創生・国際交流会館 1階コモンラウンジ
(徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地)



*お問合せ先

★SPODフォーラム 2017 ポスターセッションについて

徳島大学学務部教育支援課教育企画室

TEL : 088-656-7686 (内線 : 新蔵 81-7115)

FAX : 088-656-7688

E-mail : kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

★SPODフォーラム 2017 全般について

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局

(愛媛大学 教育学生支援部 教育企画課)

TEL:089-927-9154

E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

SPODフォーラム2017ポスター発表募集要領送付先リスト

番号	カテゴリ	大学名	備考	郵送／メール
1	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	徳島大学	SPOD加盟校	メール
2	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	県立広島大学		郵送
3	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	立正大学		郵送
4	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	京都光華女子大学		郵送
5	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	徳山大学		郵送
6	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	福岡工業大学		郵送
7	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	崇城大学		郵送
8	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	仙台高等専門学校		郵送
9	APテーマⅠ アクティブ・ラーニング	明石工業高等専門学校		郵送
10	APテーマⅡ 学修成果の可視化	横浜国立大学		郵送
11	APテーマⅡ 学修成果の可視化	北九州市立大学		郵送
12	APテーマⅡ 学修成果の可視化	八戸工業大学		郵送
13	APテーマⅡ 学修成果の可視化	東京女子大学		郵送
14	APテーマⅡ 学修成果の可視化	新潟工科大学		郵送
15	APテーマⅡ 学修成果の可視化	福岡歯科大学		郵送
16	APテーマⅡ 学修成果の可視化	富山短期大学		郵送
17	APテーマⅡ 学修成果の可視化	阿南工業高等専門学校		郵送
18	APテーマⅢ 入試改革	お茶の水女子大学		郵送
19	APテーマⅢ 入試改革	岡山大学		郵送
20	APテーマⅢ 入試改革	追手門学院大学		郵送
21	APテーマⅢ 高大接続	千葉大学		郵送
22	APテーマⅢ 高大接続	東京農工大学		郵送
23	APテーマⅢ 高大接続	愛媛大学	SPOD加盟校	メール
24	APテーマⅢ 高大接続	三重県立看護大学		郵送
25	APテーマⅢ 高大接続	杏林大学		郵送
26	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	宇都宮大学		郵送
27	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	金沢大学		郵送
28	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	山口大学		郵送
29	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	長崎大学		郵送
30	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	大阪府立大学		郵送
31	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	共愛学園前橋国際大学		郵送
32	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	芝浦工業大学		郵送
33	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	玉川大学		郵送
34	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	東京電機大学		郵送
35	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	東京理科大学		郵送
36	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	創価大学		郵送
37	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	産業能率大学		郵送
38	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	金沢工業大学		郵送
39	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	京都外国語大学		郵送
40	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	関西大学		郵送
41	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	関西国際大学		郵送
42	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	比治山大学、比治山大学短期大学部		郵送
43	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	宮崎国際大学		郵送
44	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	京都光華女子大学短期大学部		郵送
45	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	福岡医療短期大学		郵送
46	APテーマⅠ・Ⅱ 複合型	岐阜工業高等専門学校		郵送
47	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	小樽商科大学		郵送
48	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	新潟大学		郵送
49	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	神戸大学		郵送
50	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	福岡女子大学		郵送
51	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	工学院大学		郵送
52	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	津田塾大学		郵送
53	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	文化学園大学		郵送
54	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	武蔵野大学		郵送
55	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	東京工科大学		郵送
56	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	浜松学院大学		郵送
57	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	長崎短期大学		郵送
58	APテーマⅣ 長期学外学修プログラム	宇部工業高等専門学校		郵送
59	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	山形大学		郵送

番号	カテゴリ	大学名	備考	郵送／メール
60	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	茨城大学		郵送
61	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東京外国語大学		郵送
62	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	高知大学	SPOD加盟校	メール
63	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	鹿屋体育大学		郵送
64	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	大阪市立大学		郵送
65	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	兵庫県立大学		郵送
66	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	千歳科学技術大学		郵送
67	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東北公益文科大学		郵送
68	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東日本国際大学		郵送
69	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東京薬科大学		郵送
70	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東京都市大学		郵送
71	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	日本福祉大学		郵送
72	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	大阪工業大学		郵送
73	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	日本赤十字九州国際看護大学		郵送
74	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	東海大学短期大学部		郵送
75	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	山梨学院短期大学		郵送
76	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	松本大学松商短期大学部		郵送
77	APテーマⅤ 卒業時における質保証の取組の強化	徳山工業高等専門学校		郵送
78	COC(中四国)	四国大学	SPOD加盟校	メール
79	COC(中四国)	今治明德短期大学	SPOD加盟校	メール
80	COC(中四国)	くらしき作陽大学		郵送
81	COC(中四国)	倉敷芸術科学大学		郵送
82	COC(中四国)	鳥取大学		郵送
83	COC(中四国)	島根大学		郵送
84	COC(中四国)	広島大学		郵送
85	COC(中四国)	香川大学	SPOD加盟校	メール
86	COC(中四国)	高知大学	SPOD加盟校	メール
87	COC(中四国)	山口県立大学		郵送
88	COC(中四国)	広島修道大学		郵送
89	COC(中四国)	島根県立大学		郵送
90	COC(中四国)	島根県立短期大学		郵送
91	SPOD加盟校	鳴門教育大学		メール
92	SPOD加盟校	香川県立保健医療大学		メール
93	SPOD加盟校	愛媛県立医療技術大学		メール
94	SPOD加盟校	高知県立大学		メール
95	SPOD加盟校	高知工科大学		メール
96	SPOD加盟校	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部		メール
97	SPOD加盟校	高松大学・高松短期大学		メール
98	SPOD加盟校	聖カトリナ大学・聖カトリナ大学短期大学部		メール
99	SPOD加盟校	松山大学		メール
100	SPOD加盟校	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学		メール
101	SPOD加盟校	徳島工業短期大学		メール
102	SPOD加盟校	香川短期大学		メール
103	SPOD加盟校	環太平洋大学短期大学部		メール
104	SPOD加盟校	松山短期大学		メール
105	SPOD加盟校	高知学園短期大学		メール
106	SPOD加盟校	阿南工業高等専門学校		メール
107	SPOD加盟校	香川高等専門学校		メール
108	SPOD加盟校	新居浜工業高等専門学校		メール
109	SPOD加盟校	弓削商船高等専門学校		メール
110	SPOD加盟校	高知工業高等専門学校		メール

※SPODホームページ、asagaoメーリングリストでも周知

※メール、郵送はSPOD事務局(愛媛大学)が行う。

平成 28 年度 SPOD 事業の評価について

SPODでは、毎年度事業評価を行い、次年度の事業に活用することとしている。

このたび、平成 28 年度事業について、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業評価委員会委員から活動報告書及びヒアリングをもとに評価をいただいた。

各委員からは、SPOD事業の定量的指標達成度一覧により各事業の重み付けを視認できる点や、加盟校への波及効果が見られた点等について高い評価をいただいた。一方で、私立大学加盟校の参加を促す取り組みや、引き続きプログラム開発を行うことが求められた。各委員からの主な意見は以下のとおり。

【1】活動計画及び活動実績について

①共通事業

(強み)

【SPOD フォーラム】

- ・多彩なプログラムは、参加を促す大きな魅力となっている。

また、参加者 503 名（延べ 1,469 名）のうち加盟校参加者が 6 割に及んでおり、加盟校教職員の高い評価を維持していることがうかがえる。一方、四国域外からの参加者を 4 割程度安定的に確保できていることは、同フォーラムに対する全国的な認知度とプログラムへの関心が定着している証であり、そのことは過半数を占める域外からのポスターセッション参加にも表れている。

以上により、同フォーラム開催意図のひとつである「組織を越えた相互交流・関係作り」の場の提供に寄与できている。

【SPOD 内講師派遣プログラム】

- ・年 1 回の講師派遣は、間違いなく加盟校の FD/SD 取組の着手・活性化・充実に向けたインセンティブとして機能している。引き続き牽引力たるためにも、一層の講師陣の充実が望まれる。

【将来構想】

- ・中期的、長期的方針が明確に設定され、着実に進捗している。

【FD/SD に関する調査研究】

- ・FD/SD 両専門部会の調査研究は、事業の客観化と有意性に説得力を付与する意味でも有用な取組である。

【広報・情報提供】

- ・コア運営協議会を始めとする会議録や資料が HP 上に公開され、関係者外の閲覧も可能となっており、透明性が高い。

(弱み)

【SPOD フォーラム】

- ・弱みということではないが、すでに活動報告書にも言及されているように、加盟校外教職員の希望プログラムへの可能な限りの受講について、その方策を検討願う価値はあると考える。

・SPOD フォーラムではポスターセッションが開始されている。例えば、高大接続などのテーマで高等学校の教諭や生徒が発表できればユニークかもしれない。これも、SPOD の規約（第 2 条）に記される『大学等の教育力の向上』の教育をどのように捉えるかだと思われるが、最近の高等教育政策動向を鑑みれば、あり得るものであろう。

②FD

(強み)

【FD事業全般】

・別添の資料9「SPODにおけるFDについて」であるように、FDをID（Instructional Development；授業改善）、CD（Curriculum Development；カリキュラム改善）、OD（Organizational Development；組織の整備・改革）の3領域で構成・整理し、各プログラムを展開している。特に、ID（授業改善）の領域はSPODの強みである。

・FD担当者研修、新任教員研修、ティーチング・ポートフォリオ研修、各種FDプログラム開発について継続して取り組み、多くの大学からの参加者を集め、その満足度もきわめて高いこと。

【新任教員研修】

・ネットワークコア校でプログラムが標準化され、加盟校の新任教員や新任教員以外にも提供されていることは素晴らしく、多くの加盟校から多数の参加者を獲得し、参加者の満足度も極めて高い。

(弱み)

【私立大学の参加について】

・私立大学の参加者が少ないこと。大学の教育改革で最も急がれるのは、「分厚い中間層」以下が学生数の大半を占める大学であると考えています。その多くは私立大学に集中しており、とりわけ地方の大学にはそのような大学が多いのが実態です。そのような大学では、FDも体系的なカリキュラム改革もおぼつかない大学がほとんどといってもよいでしょう。私立大学からの参加者が多くなることによって、そのような事態を克服できる人材を多く育成していくことができれば、と期待しています。

【新任教員研修】

・弱みということではないが、嘱託講師にも参加の道を開いてはどうか。

・新任教員研修プログラムの展開はSPODの特色であるが、その方法や発展について検討してみることもあり得る。例えば、方法では、現行プログラムで行なわれているレクチャー部分の動画化による反転型の新任教員研修の実施であり、発展では、教員のキャリアに応じたメニューの展開である（中堅教員の活性化など、リトリートのプログラム開発も考えられるだろう）。

【プログラム開発】

・CD（カリキュラム改善）やOD（組織の整備・改革）をいかに充実させるかは課題であろう。別添の資料9「SPODにおけるFDについて」にCDの具体例が挙がってはいるものの、外国語教育やキャリア教育をどうするか、新入生オリエンテーションや初年次教育の展開、リメディアル教育や入学前教育の実施などカリキュラムレベルで検討するものは多い。それらを現行プログラム（カリキュラム・ポリシーやマップの作成）に加えていく可能性はあるだろう。同じように、ODについても、学年暦（や講時）の検討、教室設計（施設面）などがテーマとなる可能性はある。これらのCDやODは、教職員と一緒に討議できる内容でもあり、改正されるSDとの合流や棲み分けについて議論の余地があるかもしれない。また、そうしたCDやODは、学生支援の領域へ接近するものでもある。SPODの規約（第2条）に記される『大学等の教育力の向上』の教育が、SPOD設置目的にある『学生の豊かな学びと成長を支援する』ことであれば、なおのこと、検討しておく価値があるかもしれな

い。

【非常勤講師に対する取組】

・弱み，というわけではありませんが，若手の非常勤講師に対する取り組みもできないか検討していただければと思います。

③SD

(強み)

【SD事業全般】

・別添の資料 10 であるように，SD を SPOD として再定義し，キャリア段階，職務領域別の各プログラムを展開している。

・体系的・段階的プログラム，次世代リーダー養成プログラム，講師養成によるサステイナブルな SD，SDC の輩出，を継続的に実施し，参加者の満足度もきわめて高いこと。

・松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の事例，徳島文理大学の事例など，裾野の広がりを見て取ることができる。

【大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修】

レベル別にきめ細かくプログラムが設定されており，大学間連携組織であるからこそ実現が可能な取組である。また，組織風土の異なる大学をまたいだ参加者が集うプログラムであることにも意義がある。

【プログラム開発】

・これまでのプログラム開発における実績（実態）を踏まえ，例えば学力 3 要素で示されているような 1. 知識・技能，2. 知識・技能を活用する能力，3. 主体的な態度のうち，1 の知識・技能に着目し（補う意味でも），現行プログラムにコンテンツを加えようとしている。リーダーシップやチームビルディングといった能力，職務への前向きな意欲，それらの育成だけにこだわる必要は当然なく，確かな知識・技能を蓄えることも重要である。ただ，職員が働く現場では，前述の 3 要素を絡めながら特定の文脈で総合的な能力を発揮すること（例えば OECD が示すキー・コンピテンシー）が求められているはずであり，この 3 要素を上手く組み合わせた内容によるプログラム開発が肝要であろう。1 と 2 と 3 を個別に受講するのが，これまでの研修スタイルであったともいえる。そうした研修を終え現場へ戻ってから求められたのは，1 と 2 と 3 の同時的な能力発揮であるため，研修は役立たないということになってきたのかもしれない。これを払拭していくのは，1 と 2 と 3 を同時に鍛えるプログラムの開発ではないだろうか（あるいは個別に実施したとしても，現場では統合が大切であることを促すなど）。

(弱み)

【私立大学の参加】

・FD に比べれば，私立大学からの参加者が多いプログラムもありますが，私立大学からの参加者を多くすることができる企画を検討できないでしょうか。

【参加費について】

・採算の取れる参加費を設定しても可能なように思います。東京や関西に行くよりも，四国内で参加でき，経費も安く済み，内容も充実していればいけると思います。

【SPOD－SDC，講師育成】

・別添の資料 8「SPOD が加盟校以外の教職員から徴収する研修料について」で、加盟校以外からの参加者について研修料を値上げする（常態にする）ことに触れている。研修を担当する講師のクオリティには注意を払っておいたほうが良いだろう（特に SPOD 内育成）。

・本年度、私学から初めて授与者が出たことは喜ばしい。また、16 名と認定者も増えてきているが、まだまだ認定者が特定大学に偏っている感はぬぐえない。今一度、この認定制度の趣旨とねらい及び認定者の活用（活躍）方法について加盟校に発信し、認定者所属大学の広がりが出るとよい。

【SD 事業全般】

・弱みということではないが、「職員のための講師養成講座」「次世代リーダー養成ゼミナール」「SPOD－SDC」の各取組の目的と相互の関連性（ステップアップイメージ）を説明づけることができるのであれば図示等して見える化を図るとよい。

④組織運営等

（強み）

【SPOD 事業全般】

・文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に平成 20 年 10 月の設立後、平成 23 年度からの加盟校分担金による自主運営体制にスムーズに移行できており、今日に至るまで極めて順調に事業を継続・展開できていることは高く評価できる。

・組織運営の中核にコア校を設定し、定期的に協議を行って民主的に運営し、成果を着実に上げていること。

・「平成 28 年度活動報告書」60-61 頁に掲載されるような枠組みで達成度（Output: 目標と照らして形式的・量的な側面）の把握を実施している。SPOD 内における各事業への参加度（濃淡）やプログラム提供状況を知ることにより、SPOD が提供している各事業の重み付けを視認できる。このような指標は達成度の高い低いで軽率な判断をしてしまいがちとなるので、SPOD 事業として、どれほどの重点を置いているのか（置かざるをえないのか、置くべきか等）の検討を慎重に行なわれたい。

（弱み）

【私立大学の運営参加】

・ここでも私立大学が主体的に組織運営に参加していないことが問題点だと考えます。

・愛媛大学をはじめとするコア校が、その名の通り核となって SPOD 事業を牽引していることがよく理解できる。しかし裏返せば、コア校以外の加盟校、とりわけ私学の積極的な参加について、引き続き注力が必要と感じる。

【プログラム開発】

・社会連携、国際連携、障がい学生支援と時宜を得たプログラムが追加されているが、サービスマーケティングやピアラーニング、学生実態調査を読み解く（政策につなげる）ようなプログラムもあるとよい。

【加盟校の事業活用状況】

・達成度一覧は、SPOD 加盟校の教員・職員数を母数にした表であり、SPOD 内における各事業の価値を確認できるものである。これに加えて、加盟校毎に同じような枠組み（闇魔帳のようなもの）で確認できれば、各加盟校が SPOD をどのように活用しているかの状況を量的に把握することができ

るであろう。

・「平成 28 年度活動報告書」63-89 頁には、各加盟校（地域順）の活動が報告されている。加盟校内で何ができるようになったか（Outcome: 目標と照らして直接的・質的な側面）や、Impact（目標と照らして間接的・波及的な側面）が記述され、現況を知るために有効な報告である。これに加えて、例えば、大学の規模別に Outcome や Impact を並べてみることで見えてくるものがあるかもしれない。

【2】次年度実施に向けての提案

【プログラム開発】

・国立大学には中期計画策定の作業がありますが、私立大学には義務化されていないので、しっかりとした計画策定のできない大学もかなりあります。策定していたとしても、シンクタンクに丸投げで、教職員の指針になっていないところも多いと思います。「戦略的プランニング」の手法を学ぶことができるプログラムを入れることができるといいですね。人数限定のゼミ形式で2〜3日くらいかけないと難しいとは思いますが、次年度にできなくても、近い将来に実現できるといいですね。

【調査研究】

・毎年である必要はないが、加盟校に対してアンケートとヒアリングを実施する等して、SPOD に対する加盟校のニーズや期待を把握する機会を設けることにより、今後の取組の一助とすることができないか。

・SPOD の各事業に対する加盟各校の参加度合の状況（濃淡）について集計・把握し、学校名が特定できないように配慮しつつ、加盟校の参加底上げに向けた基礎資料としてはどうか。

【事業評価のあり方】

・別添の資料 11「SPOD の将来構想について」により、中長期の方針が策定された。構想や計画が固まっていくなかで、それをどのようにモニターし評価するか（改善へつなげていくか）について議論の余地があると思われる。事業評価委員会要項（報告書 99 頁）の第 4 条・第 5 条あたりをいかに運用するかの課題（工夫）かもしれないが、「評価」という言葉にこだわる（評価だからこうするものだと考える）必要もなく、例えば「SPOD 事業モニター会議」のような名称でディスカッションの場を設けるといったことはできるかもしれない。そこには（ディスカッションのテーマによっては）、SPOD フォーラムへの常連参加者といったユニークなメンバーの出席も考えられるだろう。

【SPOD 事業全般】

・活動報告書の中に「財務状況の概要」に関する項目を設け、予算・決算の状況について概説することにより、収入・支出の構造と限られた財源の中での執行状況に関して、加盟校の理解が深まるのではないかな。

・組織や制度が整備・確立され、確固たるものになっていくことが悪いことではない。気をつけなければならないのは、その場において活動・活躍する人までもが確固たるものになることだろう。また、確かな運用が始まれば、目的と手段の逆転が起こりがちである。この逆転を起こしているのは、人であろう。関与するすべての人が遊び心をもって柔軟に思考しろというわけではないが、そうした余白をもつ（異なる見方で活動や実績を眺める）ことで、組織や制度の陥穽にはまることを避けることができたり、改善や革新が生まれたりすると思われる。

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会議事概要

- 1 日 時 平成29年3月30日（木） 13：00～14：30
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンターメディアホール
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 長 愛媛大学 大橋裕一 学長
- 5 議 題

総会の開会に先立ち、SPOD事務局の神から四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第9条第3項の規定に基づき、総会の議長は会長である愛媛大学長の大橋が務めることについて説明があり、異議なく了承された。

続いて、SPOD事務局の神から加盟校の過半数以上が出席しており、規約第9条第7項に規定する総会の開会要件を満たしている旨の報告があり、総会が開催された。

- （1） 平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料1に基づき、平成28年度事業の総括について説明があった。併せて、資料7に基づきSPOD取組内容の再検討等について説明があり、原案のとおり承認された。
- （2） 平成28年度事業収支及び会計監査について
SPOD事務局の神から資料2-1～2に基づき、平成28年度事業収支について説明があった。
引き続き、愛媛県立医療技術大学の橋本学長から資料2-3及び参考資料1に基づき、平成29年3月14日及び平成29年3月30日に行われた会計監査結果について、規約及び会計監査実施要領に基づき、適切に会計処理が行われている旨の報告があり、平成28年度事業収支が原案のとおり承認された。
- （3） 役員の改選について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料3-1～3及び参考資料2に基づき、任期満了に伴うSPOD役員等の改選について説明があり、原案のとおり承認された。
- （4） 平成29年度事業計画について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料4に基づき、平成29年度事業計画（案）について説明があり、原案のとおり承認された。
- （5） SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について
SPOD企画・実施統括者の小林から資料5及び参考資料3に基づき、SPODが加盟校以外の教職員から徴収する研修料について説明があり、原案のとおり承認された。
- （6） 平成29年度事業予算について
SPOD事務局の神から資料6-1～2及び参考資料4～5に基づき、平成29年度事業予算（案）について説明があり、原案のとおり承認された。

(7) その他

① S P O D 紹介チラシについて

S P O D 企画・実施統括者の小林から資料 7 に基づき、S P O D 紹介チラシについて説明があった。

② S P O D における F D について

S P O D 企画・実施統括者の小林から資料 8 に基づき、S P O D における F D について説明があった。

③ S P O D における S D について

S P O D 企画・実施統括者の小林から資料 9 に基づき、S P O D における S D について説明があった。

④ S P O D 事業評価委員会委員について

S P O D 企画・実施統括者の小林から資料 1 0 及び参考資料 6 に基づき、S P O D 事業評価委員会委員の任期満了に伴う次期委員の改選について説明があった。

⑤ 平成 2 8 年度各加盟校の F D / S D 活動の取組報告について

S P O D 企画・実施統括者の小林から資料 1 1 に基づき、平成 2 8 年度における各加盟校の取組報告について説明があった。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿

任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

会 長	大 橋 裕 一	愛媛大学長
副 会 長	野 地 澄 晴	徳島大学長
副 会 長	長 尾 省 吾	香川大学長
副 会 長	脇 口 宏	高知大学長
監 事	桐 野 豊	徳島文理大学・ 徳島文理短期大学部学長
監 事	濱 中 俊 一	高知工業高等専門学校長
企画・実施統括者	小 林 直 人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（愛媛大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・国際連携系職員養成研修（年1回）
- ・社会連携系職員養成研修（年1回）
- ・学務系職員養成研修（年1回）
SPODフォーラム2017において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，香川県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
新任教員研修（愛媛大学）プログラムの一部受講等により実施予定
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2017に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

平成 29 年度 S P O D 事業計画

1. S P O D 共通事業

- ・ S P O D フォーラム

平成 29 年 8 月 23 日 (水) ～ 25 日 (金) (3 日間)

開催場所：徳島大学

「全体テーマ：Feeling と Thinking を Learning につなげる」

トップリーダーセミナーを併せて開催

- ・ S P O D 内講師派遣 (加盟校単位 各 1 回 計 24 回) 開催場所：各加盟校
原則として、1 法人あたり 1 回とする。ただし、高等専門学校については、1 校あたり 1 回とする。
- ・ F D ・ S D に関する調査研究
- ・ S P O D 将来構想ワーキンググループ
- ・ 情報提供サービス
 - ① 研修プログラムガイド 2017 の発行 (年 1 回、冊子及びホームページ掲載)
 - ② 平成 29 年度 S P O D 活動報告書の発行 (年 1 回、冊子及びホームページ掲載)
 - ③ S P O D ホームページの管理・更新
 - ④ S P O D メールマガジンの発行 (月 1 回程度)
- ・ その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

2. F D 事業

- ・ F D 担当者研修 開催場所：徳島大学
S P O D フォーラム 2017 において開催
- ・ 新任教員研修 (年 5 回) の実施・公開 開催場所：各コア校 (愛媛大学は 2 回実施)
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ (年 2 回) の公開・実施
 - ① 全加盟校教員対象 (年 1 回)
開催場所：徳島大学
 - ② 高専対象 (年 1 回) 開催場所：愛媛大学
開催場所：愛媛大学
- ・ 各種 F D プログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド 2017 に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（愛媛大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・国際連携系職員養成研修（年1回）
- ・社会連携系職員養成研修（年1回）
- ・学務系職員養成研修（年1回）
SPODフォーラム2017において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：徳島大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，香川県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
新任教員研修（愛媛大学）プログラムの一部受講等により実施予定
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2017に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

SPODにおけるFDについて

(1) SPODにおけるFDとは

SPODにおけるFDは、教育・学習効果を最大限に高めることを目指した、1) 授業改善、2) カリキュラム改善、3) 組織整備・改革 への組織的な取組の総称です。

大学設置基準では、「大学は、当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。」と定められています。SPODにおけるFDは、この条文の定義よりFDを広く捉えて、研修の機会を大学間で連携して提供しています。

1) 授業改善 (Instructional Development)

個々の授業をより良いものにするための取組です。具体的には、授業評価アンケート、教員相互の授業参観、授業コンサルテーション、教授法に関する講演会、シンポジウム、ワークショップ、セミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・新任教員研修
- ・各種スキルアップ系研修
- ・各種公開セミナー
- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

〈各大学での取組例〉

- ・教員相互の授業参観、授業講評会
- ・学生による授業評価アンケート
- ・各種セミナー
- ・学生との意見交換会

2) カリキュラム改善 (Curriculum Development)

学部、学科、課程、コース等において提供されるカリキュラムや教育プログラムをより良いものにするための取組です。具体的には、カリキュラム・ポリシーの制定、授業科目の新設・改廃、授業科目間の関連性の検討、カリキュラムの現状診断・評価・開発、またこれらに関わるセミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・FD担当者研修
- ・カリキュラム改善に関するセミナー

〈各大学での取組例〉

- ・カリキュラム・ポリシー制定に関する学内FD研修会
- ・カリキュラム・ポリシーに対応した各授業科目の授業内容の検討
- ・カリキュラム・マップの作成 ・副専攻制導入の検討

3) 組織の整備・改革 (Organizational Development)

教育・学生支援に関わる組織の構造や組織間の関係をより機能的なものにするための取組です。具体的には、教育・学生支援に関わる委員会の設置・改廃、各委員会の役割の検討、組織の現状診断・評価・再編、組織間での連携協力、管理職等を対象とした各種研修会がこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・FD担当者研修
- ・講師派遣事業によるコンサルティング

〈各大学での取組例〉

- ・SPODに関するFD実施体制の構築
- ・FD委員会等組織の見直し
- ・学科・コースの再編及びそれに伴う教員の再配置
- ・教育重点型教員の配置

1), 2) においては、組織レベルのみならず教員個人レベルにおける取組も重要です。そして、1), 2), 3) いずれにおいても、常にPDCAサイクルを意識して、持続的に改善を図る姿勢が肝要であると考えます。

【SPOD-FDプログラムのレベルについて】

国立教育政策研究所が開発したFDマップを利用して、本ガイドブックに掲載されているSPOD—FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップとは、FDプログラムを体系的に整理できる枠組です（図参照）。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「ミクロ・レベル（授業・教授法の開発）」「ミドル・レベル（カリキュラム・プログラム開発）」「マクロ・レベル（組織の教育環境・教育制度の開発）」に分類しています。そして縦軸にFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、「Ⅰ．導入（気づく・わかる）」「Ⅱ．基本（実践できる）」「Ⅲ．応用（開発・報告できる）」「Ⅳ．支援（教えられる）」と4つのフェーズに分かれています。

各プログラムのレベルとフェーズについては、研修プログラムガイドをご参照ください。

レベル フェーズ	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・教育制度
Ⅰ．導入 (気づく・わかる)			
Ⅱ．基本 (実践できる)			
Ⅲ．応用 (開発・報告できる)			
Ⅳ．支援 (教えられる)			

図．FDマップのフレームワーク

参考・引用文献
国立教育政策研究所 FDER研究会「大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン」国立教育政策研究所、2009

（2）FDプログラムの内容

FDプログラムは主に、1）FD担当者の養成、2）新任教員研修、3）ティーチング・ポートフォリオに関する研修、4）その他各種研修で構成されています。

1）FD担当者の養成

以下の研修等を実施し、各加盟校において、より主体的なFD活動を行うことのできるFD担当者の養成を行います。

- ・FD担当者研修

2）新任教員研修

教員としてのキャリアパスの早期において基礎的な内容を学習できる新任教員等向けの研修を実施・公開します。このプログラムは、どのコア校が主催する新任教員研修を受講しても同様の効果が得られるよう、標準化されています。

- ・授業設計ワークショップ
- ・よりよい授業のためのFDワークショップ
- ・授業デザインワークショップ
- ・学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

3）ティーチング・ポートフォリオ研修

各自の教育活動を振り返り、自身の教育理念、課題などを整理し教育力向上、意識改革の一助となる「ティーチング・ポートフォリオ」（教育業績記録）作成に関するワークショップを実施・公開します。

- ・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、更新ワークショップ
- ・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ

4）その他各種研修

各加盟校で実施するプログラムを相互に公開し、参加を促進します。

- ・アクティブ・ラーニングに関するプログラム
- ・学生の学びの支援に関するプログラム
- ・ICTに関するプログラム
- ・教学IRに関するプログラム
- ・学習評価に関するプログラム

SPODにおけるSDについて

(1) SPODにおけるSDとは

SPODにおけるSDは、四国内の大学、短期大学、高等専門学校（以下、大学等という）の職員が組織的に共同開発した職員養成プログラムを実施し、大学等のジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定分野の能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する取組です。

大学設置基準において、「大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第25条の3に規定するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。」という条文が加えられました。SPODにおけるSDは、この条文に書かれた研修の機会を大学間で連携して提供するものです。

その特徴として次の3点が挙げられます。

第一に、大学等間で協力してSDプログラムを開発・実施することで、多様な研修プログラムの機会を提供していることです。キャリア段階別研修、職務別能力開発研修など個々の職員のニーズに合った研修を提供しています。

第二に、大学等を越えた交流促進へ寄与することです。研修にはSPOD加盟校の職員であれば参加できるため、大学等での取組の工夫や課題を参加者間で共有することができます。

第三に、継続性が念頭に置かれていることです。SDコーディネーターの養成や講師養成研修などにより研修の担い手を育成することで、SPODや各大学等の自立的なSDを継続的に実施できるように支援しています。

(2) SDプログラムの内容

SDプログラムは、1) キャリア段階別研修、2) 職務別能力開発研修、3) 次世代リーダー養成ゼミナール、4) SDコーディネーター及びSD講師の育成、5) 各大学等の職員能力開発の5つの柱で構成されています。

1) キャリア段階別研修

新任職員・若手職員から管理職員までのキャリア段階別研修として「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ～レベルⅢ）」を実施しています。この研修では、職務遂行力（テクニカルスキル）、人間力（ヒューマンスキル）、管理・運営力（マネジメントスキル）の3領域の能力開発を目指しています。また、全職員の共通研修としてハラスメント研修等を実施しています。そのほかに、学長や役員も対象としたトップリーダー研修も年に1回程度開催しています。

着任早々の新任職員対象のプログラムは、四国4県から対象職員が参集し、大学職員・社会人としての基礎から学びます。その後、段階を追うごとに部下及び上司との関係性、管理職員としての視点、人材育成に資する能力を培うことなど、それぞれのキャリア段階に応じた研修プログラムを提供しています。プログラムの受講に加えて、参加者間の交流を通じた職員ネットワークの構築にも繋がっています。

- ・ 新任職員研修（レベルⅠ）
- ・ 若手職員研修（レベルⅠ）
- ・ 中堅職員研修（レベルⅡ）
- ・ 管理職員研修（レベルⅢ）
- ・ 共通研修
- ・ トップリーダー研修

2) 職務別能力開発研修

職務別能力開発研修として以下の3領域の研修を実施しています。プログラム構築の過程で各職務に応じた目標設定や内容を厳選しており、実践に応じたプログラムの提供に努めています。研修レベルも新任職員（レベルⅠ）から管理職員（レベルⅢ）までの段階を追った構成になっています。

- ・学務系職員養成研修
- ・社会連携系職員養成研修
- ・国際連携系職員養成研修

3) 次世代リーダー養成ゼミナール

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラムを提供しています。本ゼミナールは、二年間で8回の日程（2泊3日の合宿形式）で実施しており、プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践」の3つの柱で構成されています。受講者は各大学等の学長から推薦を受けた少数精鋭の職員です。受講対象者は、SPOD加盟校の職員としていますが、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外の職員を受け入れます。

4) SD コーディネーター及びSD講師の育成

SPODでは、各大学等のSDの自立的運営を目指しており、受講者が講師として必要な知識・技能・態度を身に付け、次期のSDプログラム講師を務めることができる研修プログラムを提供しています。

SD コーディネーターの養成プログラムや次世代リーダー養成ゼミナールを修了した者で、以下の認定基準を満たし、諸手続を経て審査に合格した者には、SPOD-SDC 資格が認定されます。SPOD-SDC に認定を受けた者は、所属大学等のSD推進に加えて、SPOD の新任職員研修やSPOD フォーラムなどで研修講師としても活躍しています。

- ・講師養成研修
- ・SD コーディネーターの養成

SPOD-SDC の資格認定基準

1. SPOD-SD（又は自大学におけるSD）講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

5) 各大学等の職員能力開発支援

SPODでは、以下の4つの取組により各大学等の能力開発を支援しています。

スタッフ・ポートフォリオは、職員個人のキャリア形成のためのポートフォリオを作成し、個人のビジョン・ゴールを明確にします。その過程で所属組織のビジョンや組織内での自身の立ち位置を意識することで組織的な活性化をも支援します。

また、各大学等のSD支援として、SDに関わる相談に応じるコンサルティングや実際にSD研修を行う講師派遣などを行っています。年に1回開催するSPOD フォーラムでは、実践で必要とされるテーマを設定し、SPOD内外の講師による講義及び演習を交えたプログラムを提供しています。

- ・スタッフ・ポートフォリオ作成
- ・講師派遣
- ・SPOD フォーラム
- ・コンサルティング

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会委員名簿

任期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

福島 一政 追手門学院大学 学長代理，副学長

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長

(計 3 名 敬称略)

平成 28 年度 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

FD 分科会 議事概要

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 30 日（木） 15：00～16：00
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ 3 階 M32 番教室
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 議 題

(1) FD 専門部会について

塩崎 FD 専門部会長から資料 1 に基づき、平成 28 年度に開催された全 2 回のネットワークコア運営協議会 FD 専門部会について報告があった。

(2) SPOD フォーラム 2017 について

徳島大学宮田准教授から資料 2－1～2 に基づき、SPOD フォーラム 2017 について説明があった。最終日のみ会場を 1 つ増やす予定であるとの報告があった。

(3) SPOD 内講師派遣について

愛媛大学小林教授から資料 3－1～4 に基づき、平成 29 年度 SPOD 内講師派遣について説明があった。SD の義務化に伴い SD のニーズが増えてきたこと、FD 関係では「アクティブ・ラーニング」という言葉が目立つとの報告があり、アンケート結果では、継続を希望する声が多く、設置形態の近い大学の課題や成果を参考に、各機関における FD 活動の支援として活用いただきたいとの提案があった。

(4) SPOD の FD 取組内容について

愛媛大学小林教授から総会資料 8 に基づき、SPOD における「FD」は、大学設置基準の定義より FD を広く捉えるという従来どおりの考え方で進めていくことの説明があった。

(5) 意見交換（グループディスカッション）

議題 4 及び自大学の取組内容や SPOD に期待することを中心に、各グループで意見交換を行った。参加者からの意見等については別紙「FD 分科会グループディスカッション成果」のとおりである。

(6) その他

徳島大学吉田講師から、徳島大学の作成した FD カレンダーの紹介があった。

平成28年度FD分科会グループディスカッション成果

平成29年3月30日（木）

愛大ミューズ3階 M32 番教室

【Aグループ】

- 学生の多様化に伴い、学習障害や発達障害の学生に対する学生理解・学生支援のニーズが高い。
- 授業評価アンケートや、卒業予定者アンケートを紙媒体で行うか、Webで行うかの議論が挙がった。Webで行い、再三の催促を行った結果、回収率5割の成果があった実例が紹介された。

【Bグループ】

- 小規模校では、自大学でのFD研修が難しいので、SPODを活用している。
- キャンパスの立地条件等もあり、全学の先生が集まる機会を作ることが難しい。Webを利用した取組も活用している。

【Cグループ】

- 短大等の小規模校では、SPODフォーラムより講師派遣の方が、受講生も多くメリットがある。
- フォーラム等で外部の研修に参加した場合に、伝達講習をしている例もあった。
- SPOD講師派遣の2回目、3回目ができると良いという意見があった。
→2回目、3回目はSPOD事業とはならないため、直接講師所属機関（事務担当等）に派遣可否を確認いただきたい。詳細は2月20日付けで事務担当者に連絡済。（別添資料参照）

【Dグループ】

- 高専のFDは、授業期間中や定期試験中に行われることが多いので、夏休み中に四国内の高専で持ち回り開催ができれば、コンテンツを共有できるというアイデアが出た。

平成29年度SPOD内講師派遣事業実施にかかる手続き等について

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

平成29年実施予定のSPOD内講師派遣プログラムについては、以下のとおり取り扱いますので、ご確認願います。

(1) 講師の旅費・謝金について

① SPOD内講師派遣にかかる講師の旅費・謝金について

SPOD内講師派遣プログラムは、1法人あたり1回無料でご利用いただける制度です。

貴機関から講師へ旅費・謝金をお支払いいただく必要はありません。

SPOD事務局より、講師所属事務担当者に旅程等確認の後SPOD経費で旅費を支給します。

また、謝金は、支給いたしません。（「共同事業契約書」の締結に伴い、本講師派遣事業が各加盟校の業務となることによる）

② 2回目以降の講師派遣等をご希望の場合

2回目以降の講師派遣等をご希望の場合は、SPOD内講師派遣プログラム(SPOD事業)とはなりません。直接講師所属機関（事務担当等）に派遣可否を確認してください。

なお、2回目以降の講師派遣等にかかる講師への旅費・謝金は講師所属機関の兼業規程等必要手続きをご確認の上、貴機関よりお支払いください。

(2) 加盟校外の教職員のプログラム参加について

SPOD内講師派遣事業その他SPODプログラムはSPOD加盟校（四国地区大学・短大・高専 ※四国学院大学を除く）教職員は無料でご参加いただけますが、SPOD非加盟校の教職員が参加の場合は原則研修料が必要となります。加盟校外教職員の参加希望がある場合は、事前にSPOD事務局までご相談ください。

(3) SPOD内講師派遣プログラム実施要項等の送付について

講師の旅費手続き等の際に必要となりますので、担当講師に確認いただいた上で、実施要項等をプログラム開始1ヶ月前までにSPOD事務局までメールでご送付願います。

(4) 研修事後アンケートについて

今後のプログラム改善の参考にいたしますので、当日は、様式1の講師派遣プログラムアンケート（受講者対象）の実施をお願いいたします。受講者数分印刷して配付いただき、回収後は速やかに以下の宛先に送付願います。なお、貴校独自のアンケートや講師が独自にアンケートを実施する場合には、SPOD事務局までお知らせください。

（送付先）〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番地 愛媛大学 教育企画課教育企画チーム 宛

(5) 研修の完了報告について

講師派遣事業の実績として活動報告書等に掲載させていただく予定ですので、プログラム終了後、速やかに、様式2の完了報告書をSPOD事務局までメールでご送付願います。記入の際は記入例をご参照ください。

(6) 年度末の実施責任者対象のアンケート実施について

研修後の学内での変化や効果を調査するため、年度末に研修実施責任者対象のアンケートを実施しております。様式3の講師派遣事業についてのアンケート（研修実施責任者対象）にご回答の上、平成30年1月15日までにSPOD事務局までメールでご送付願います。

実施時期が締切日以降の場合は、プログラム終了次第提出してください。

(添付書類)

- 01 様式1 講師派遣プログラムアンケート（受講者対象）
- 02 様式2 完了報告書
- 03 記入例 完了報告書
- 04 様式3 講師派遣事業についてのアンケート（研修実施責任者対象）

（問い合わせ・回答先）

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

濱元、松崎、安井

TEL 089-927-9154

E-mail spod@stu.ehime-u.ac.jp

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」FD分科会 出席者名簿

機関名	役職名	氏名
徳島大学	総合教育センター 准教授	宮田 政徳
	総合教育センター 講師	吉田 博
	総合教育センター 特任研究員	上岡 麻衣子
鳴門教育大学	教授	皆川 直凡
香川大学	大学教育基盤センター 准教授	葛城 浩一
愛媛大学	教育・学生支援機構副機構長／教育企画室長	小林 直人
	教育企画室 特定研究員	加地 真弥
	教育企画室 特任助教	小林 忠資
高知大学	教授	塩崎 俊彦
	特任准教授	杉田 郁代
香川県立保健医療大学	FD・SD委員会委員長 教授	舟越 和代
愛媛県立医療技術大学	FD委員長教授	米持 英俊
高知県立大学	学長特別補佐	五百蔵 高浩
高知工科大学	副学長	蝶野 成臣
徳島文理大学・短期大学部	教務部 教育・研究支援グループ 准教授	竹本 恵一
高松大学・高松短期大学	副学長	藤原 フサエ
松山大学・松山短期大学	副学長	熊谷 太郎
	教務課長	國貞 晴美
松山東雲女子大学・東雲短期大学	心理福祉専攻主任(教授) FD委員長	森 日出樹
徳島工業短期大学	学長	宮城 勢治
香川短期大学	ALO(第三者評価連絡調整責任者) 教授	草薙 眞由美
今治明德短期大学	准教授	寺川 夫央
環太平洋大学短期大学部	人間発達学科 専任講師	十河 直太
高知学園短期大学	教務部長	吉村 斉
阿南工業高等専門学校	教育開発推進室長、FD専門委員長	松本 高志
新居浜工業高等専門学校	副校長(教務主事)	早瀬 伸樹
高知工業高等専門学校	アクティブラーニング教育センター長 (ソーシャルデザイン工学科 教授)	芝 治也

陪席

愛媛大学	教育学生支援部教育企画課長	神 智彦
	教育学生支援部教育企画課教育企画チームリーダー	濱元 悠子
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	安井 万理
高知大学	学務課長補佐	西田 浩敏

平成 28 年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

SD 分科会 議事概要

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 30 日（木） 15：00～16：00
- 2 場 所 愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージズ 3 階 M33 番教室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議 題

(1) SPOD－SD について

① SD 専門部会について

中井 SD 専門部会長から資料 1－1～3 及び参考資料 1 に基づき、平成 28 年度に開催された全 3 回のネットワークコア運営協議会 SD 専門部会及び書面審議の内容について報告があった。また、併せて SPOD－SDC の資格認定に関して、今年度新たに 4 名の教職員が認定された旨の報告があった。

② 平成 29 年度 SPOD－SD プログラムについて

中井 SD 専門部会長から資料 2 に基づき、平成 29 年度 SPOD－SD プログラムについて説明があった。特に、次世代リーダー養成ゼミナールについては、参考資料 2、3 に基づき、従来からの変更点を中心に説明があった。

③ SPOD フォーラム 2017 について

中井 SD 専門部会長から資料 3－1～2 に基づき、SPOD フォーラム 2017 の開催について説明があった。

④ SPOD 内講師派遣プログラムについて

中井 SD 専門部会長から資料 4－1～5 に基づき、平成 29 年度の SPOD 内講師派遣プログラムについて説明があり、職員を対象としたプログラムも増えているので、各機関において活用いただきたい旨の発言があった。

⑤ その他

FD/SD に関する調査研究について、SD 研修における講師養成のプロセスや成果等の報告があった。

(2) SDの義務化への対応状況等についての意見交換（グループディスカッション）

意見交換に先立ち、中井SD専門部会長からSPODにおけるSDの特徴について紹介があり、SDの義務化への対応について、以下3点に関して各グループで意見交換が行われた。

- ① 求められるSDは従来のSDと何が異なるのか。
- ② 義務化に向けて各機関はどのような準備をしているのか。
- ③ 今後のSPODのSDに何を期待したいのか。

参加者からの主な意見は以下のとおりである。

- ① 求められるSDは従来のSDと何が異なるのか。
 - ・基本的に異なる点はないが、SDの義務化自体がまだ組織内に浸透していないので、その点は共通の課題である。
 - ・FD/SD合同で行う研修も必要である。
 - ・FD/SDの縦割りが問題である。
 - ・教職協働が色濃くなっている。
 - ・SDの対象は教員も含まれるが、教員は自身がSDの対象である認識が薄いので、その意識付けが今後の課題である。
 - ・従来までは教育面のSD研修を行ってきたが、今後は学部長クラスも含め、マネジメント能力を向上させる必要がある。
- ② 義務化に向けて各機関はどのような準備をしているのか。
 - ・FD/SDを合同で実施する大学もあり、翌年度から「SD推進委員会」を立ち上げ、教職合同でSDの義務化に向けての取組を進めている。
 - ・今後、大学の学長や役員をFD/SDに巻き込んで行くことが必要であり、国立大学において、国立大学協会が実施するトップマネジメント研修に学長が参加していることは、既に一つのSDといえる。
 - ・大きく方針を変える必要はないが、研修参加に対する職員の意識の問題が大きく関わっているのではないか。
 - ・現在行っている全ての研修を洗い出して、FD/SD研修の集約化を行うことも一つの取組といえる。
 - ・愛媛大学では人材育成のキャリアマップを作成している。
 - ・高知大学においては現在行っているFD/SD研修を洗い出し、大学が目指す人材像と必要なスキルを明確にした上で、新たにどのような研修が必要かを検討する取組を始めている。
 - ・高知大学では学長からSPODフォーラムへの参加を定期的に呼びかけており、上層部から職員へ研修の参加を促すことを行っている。

③ 今後のSPODのSDに何を期待したいのか。

- ・FD/SD合同での取組を強化してほしい。
- ・FD/SD研修の同時開催を行うなど、教職員全員が参加できる研修があるとよい。
- ・日常業務に追われている職員が研修に参加しやすい職場環境づくり等、研修に対する意識改革が必要である。
- ・大学等の規模によって色々な状況があるため、参加しやすい方向性を考えてほしい。
- ・単発的に終わってしまう研修ではなく、体系的・継続的に受講できる研修の仕組みがあるとよい。
- ・従来まではコミュニケーション等のヒューマンスキルに関する研修が多かったことを踏まえ、今後はIRを活用した研修を充実させてほしい。
- ・研修に参加したくても時間が取れない職員が多いので、遠隔配信の接続数を増やしたり、Skypeの利用等遠隔配信で受講できる研修を増やしたりしてほしい。
- ・次世代リーダー養成ゼミナールを木曜日～土曜日に開催せず、全日程を平日にしてほしい。

以上の意見を踏まえたうえでの今後の対応等は以下のとおりである。

- ・教職員が合同で参加できる研修プログラムに対するニーズの高まりを受け、SPODフォーラムにおいてもIRや障害学生への対応等、教職員共通のプログラムを増やすなど、教職共通の内容の研修実施を進めている。
- ・SPOD内講師派遣も、職員にも対応したプログラムを増やしているところであり、活用していただきたい。
- ・研修への参加意識があっても参加できない状況であるため、実施時期や開催曜日の検討等、加盟校の意見や状況を踏まえてSPODで支援に努める。

(3) その他

中井SD専門部会長からSPOD研修への積極的な参加について呼びかけがあった。

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」SD分科会 出席者名簿

機関名	役職名	氏名
徳島大学	総務部人事課長	濱田 光男
	総務部人事課副課長	荒木 俊典
鳴門教育大学	総務課長	阿部 祐一
香川大学	経営管理室給与福利グループリーダー	田中 正昭
	経営管理室給与福利グループチーフ	石田 和一
愛媛大学	教育企画室 教授	中井 俊樹
	教育企画室 特任助教	丸山 智子
	総務部人事課副課長	久保 秀二
	教育学生支援部長	吉田 一恵
	教育学生支援部教育企画課副課長	織田 隆司
高知大学	人事課長補佐	川崎 美保
香川県立保健医療大学	FD・SD委員会委員長代理 教授	加太 英明
高知工科大学	総務部長	上田 達哉
徳島文理大学・短期大学部	就職支援部 就職支援グループ 事務主任	板東 博士
高松大学・高松短期大学	総務部企画課・企画課長	大芝 康敬
松山大学・松山短期大学	総務部次長	大野 尚文
松山東雲女子大学・東雲短期大学	事務部 総務課長	岡田 洋人
香川短期大学	総務部長 教授	福家 浩二
今治明德短期大学	事務部 総務課長	石川 眞光
環太平洋大学短期大学部	事務室長	渡辺 妙
高知学園短期大学	図書課長	森原 誠二
香川高等専門学校	総務課課長補佐	十河 誠

愛媛大学	教育学生支援部教育企画課 教育企画チームサブリーダー	五貫 恵美
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	八丈野 真子
	教育学生支援部教育企画課教育企画チーム	藤井 朋子

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要

- 1 日 時：平成29年3月14日（火）9：25～10：25
- 2 場 所：愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階ミーティングルーム
- 3 出席者：（監 事）高松大学・高松短期大学 佃昌道学長
 （対応者）愛媛大学 小林直人企画・実施統括者，神智彦教育企画課長，
 濱元悠子教育企画チームリーダー，松崎由里子教育企画課員

会計監査に先立ち，監査方法及び事項の確認を行った。

4 監査事項

(1) 平成28年度予算執行状況について

① 経費の支出が適切な体制で行われているか。

SPOD事務局から，SPODにおける事業経費の会計処理について説明を行った。

SPODにおける事業経費の会計処理については，共同事業契約書第11条第1項に基づき，愛媛大学の会計規則に基づいて処理を行っている。会計処理手続きとしては，SPOD事務局担当者（教育企画課教育企画チーム）からの依頼により，会計担当者（教育企画課総務チーム）を経由して，財務部経理調達課が最終的に会計処理の適正確認を行ってから支払いの手続きが行われている旨の説明を行い，適切な体制で経費の支出が行われていることの確認が行われ，了承された。

② 適切に経費が支出されているか（講師の選び方、委託業者の選定等）

SPOD事務局から，各研修等の講師の選定に当たっての選定方法について説明を行った。

研修では，高等教育に関する第一人者，当該分野の専門家の方を講師に依頼している。また，講師の選定に当たっては，研修の趣旨・目的，内容等を踏まえ，講師としてふさわしい経歴，実績があるかなどを検討した上で決定している旨の説明を行い，了承された。

③ 事業計画と支出の整合性がとれているか。

SPOD事務局から，資料に基づき事業経費について説明した。なお，予算執行見込みを考慮し，コア運営協議会で審議，了承の上，教職員の能力開発や講師内製化のため，能力開発費，研修物品費を支出した旨の説明を行い，了承された。

④ 経費削減可能な支出はないか。

SPOD事務局から，経費の節減として，各種研修実施の際に，教職員が公用車に乗り合わせて移動するなど経費削減に努めている旨の説明を行った。

(2) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について

SPOD事務局から，前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について説明を行い，改善状況についての確認が行われ，了承された。

(3) 事業実施状況について

① 事業計画どおりに事業が進捗しているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業の実施状況について説明を行い、順調に事業が進んでいることの確認が行われ、了承された。

② 代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

SPOD事務局から、事業の実施体制についての説明を行い、代表校を含め、各コア校においてFD／SD担当者が中心となって各種プログラムの企画実施に取り組んでおり、事業が適切な体制で行われていることを確認し、了承された。

(4) その他

佃監事より、日本のFD／SD活動は、ティーチング・ポートフォリオなど海外の仕組みを取り入れて実施されているものが多いため、海外におけるFD／SDの最新動向や情報を収集し、国際比較研究や加盟校内での情報共有を行い、新たな研修プログラムの開発に活かしてはどうかとの意見があり、今後、例えばコア校等のFDセンター教員が海外研修等で情報収集した内容を、SPODで共有するなどの方法で実施できないか、中長期的に検討することとなった。また、佃監事より、SPODは、四国内の国公立大学・高専のネットワークによるFD／SD活動を積極的に行っており、四国内の大学等は、恵まれた環境にあり、日本のFD／SD活動の先駆けとして、本事業の取組に期待している旨の発言があった。

平成28年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査議事概要

- 1 日 時：平成29年3月30日（木）10：25～11：40
- 2 場 所：愛媛大学城北キャンパス愛大ミューズ3階ミーティングルーム
- 3 出席者：（監 事）愛媛県立医療技術大学 橋本公二学長
（対応者）愛媛大学 小林直人企画・実施統括者，神智彦教育企画課長，
濱元悠子教育企画チームリーダー，五貫恵美教育企画チームサブリーダー

会計監査に先立ち、監査方法及び事項の確認を行った。

4 監査事項

(1) 平成28年度予算執行状況について

① 経費の支出が適切な体制で行われているか。

SPOD事務局から、SPODにおける事業経費の会計処理について説明を行った。

SPODにおける事業経費の会計処理については、共同事業契約書第11条第1項に基づき、愛媛大学の会計規則に基づいて処理を行っている。会計処理手続きとしては、SPOD事務局担当者（教育企画課教育企画チーム）からの依頼により、会計担当者（教育企画課総務チーム）を経由して、財務部経理調達課が最終的に会計処理の適正確認を行ってから支払いの手続きが行われている旨の説明を行い、適切な体制で経費の支出が行われていることの確認が行われ、了承された。

② 適切に経費が支出されているか（講師の選び方、委託業者の選定等）

SPOD事務局から、各研修等の講師の選定に当たっての選定方法について説明を行った。

研修では、高等教育に関する第一人者、当該分野の専門家の方を講師に依頼している。また、講師の選定に当たっては、研修の趣旨・目的、内容等を踏まえ、講師としてふさわしい経歴、実績があるかなどを検討した上で決定している旨の説明を行い、了承された。

③ 事業計画と支出の整合性がとれているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業経費について説明した。なお、予算執行見込みを考慮し、コア運営協議会で審議、了承の上、教職員の能力開発や講師内製化のため、能力開発費、研修物品費を支出した旨の説明を行い、了承された。

④ 経費削減可能な支出はないか。

SPOD事務局から、経費の節減として、各種研修実施の際に、教職員が公用車に乗り合わせて移動するなど経費削減に努めている旨の説明を行った。

(2) 前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について

SPOD事務局から、前年度の会計監査における指摘事項の改善状況について説明を行い、改善状況についての確認が行われ、了承された。

(3) 事業実施状況について

① 事業計画どおりに事業が進捗しているか。

SPOD事務局から、資料に基づき事業の実施状況について説明を行い、順調に事業が進んでいることの確認が行われ、了承された。

② 代表校及びコア校の事業が適切な実施体制で行われているか。

SPOD事務局から、事業の実施体制についての説明を行い、代表校を含め、各コア校においてFD／SD担当者が中心となって各種プログラムの企画実施に取り組んでおり、事業が適切な体制で行われていることを確認し、了承された。

(4) その他

橋本監事より、昨今、医療系大学・学部に対し、実習だけでなく講義等にもアクティブ・ラーニングの活用が求められてきているため、SPODにおいてもこれに対応したプログラムを導入してはどうかとの意見があり、SPODフォーラム等での実施も含め今後検討することとなった。また、橋本監事より、SPODでは、多様な研修プログラムを提供しており、自大学で研修を開催することが難しいため、小規模校にとっては、教職員の能力開発を図るために有効活用できる。引き続き、研修プログラムの開発・提供をお願いしたい旨の発言があった。

SPOD研修プログラムガイド2017 掲載プログラム一覧(日程別)

日 程	プログラム名	開催大学
4月		
4月6日(木)	会議マネジメント <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
4月6日(木)	学生のやる気を引き出すアイスブレイクの技法<春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
4月6日(木)	クラスルームコントロール<春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
4月7日(金)	大学授業入門	高知大学
5月		
5月10日(水)～12日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第1回【新任職員研修】	愛媛大学
5月11日(木)	効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
5月11日(木)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計ー課題分析図の活用ー <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
5月18日(木)	効果的なeラーニング活用方法(超入門編) <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
5月18日(木)	アクティブラーニング入門セミナー <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
5月19日(金)	学習評価の基本 <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
6月		
6月1日(木)～3日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	愛媛大学
6月17日(土)～18日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学
6月29日(木)～30日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅡ)	愛媛大学
7月		
7月1日(土)～2日(日)	授業デザインワークショップ(28回)	愛媛大学
7月15日(土)～16日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学
7月20日(木)～22日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	高知大学
8月		
8月10日(木)	プロジェクトマネジメント <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
8月21日(月)	講義のための話し方入門 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
8月23日(水)～25日(金)	SPODフォーラム2017	徳島大学
8月29日(火)～30日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学
8月30日(水)～9月1日(金)	授業デザインワークショップ(29回)	愛媛大学
8月30日(水)～9月1日(金)	職員のための講師養成講座	愛媛大学
8月31日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー	高知大学
9月		
9月5日(火)	大人数講義法～良い授業づくりのコツ～	高知大学
9月5日(火)	メンタルヘルス研修会(ストレスマネジメントおよびアンガーマネジメントを含む)	高知大学
9月6日(水)	はじめてみよう! アクティブ・ラーニング	高知大学
9月6日(水)	グループワークの技法	高知大学
9月6日(水)～9月8日(金)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学
9月11日(月)	大人数講義法の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
9月11日(月)	3つのポリシー(ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー; アセスメント・ポリシー)の開発と一貫性構築	愛媛大学
9月12日(火)	ジグソー学習法入門<夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
9月12日(火)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門ーARCS動機づけモデルの活用ー <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
9月14日(木)	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学
9月14日(木)	問題発見・解決の技法	愛媛大学

日 程	プログラム名	開催大学
9月14日(木)～15日(金)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学
9月15日(金)～17日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	愛媛大学
9月15日(金)～17日(日)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学
9月20日(水)～21日(木)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅢ)	愛媛大学
9月25日(月)	大人数講義をもっとうまくやるためのコツ	香川大学
9月25日(月)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・話し合いの技法編－	香川大学
9月26日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・教え合いの技法編－	香川大学
9月26日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・問題解決の技法編－	香川大学
9月27日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・図解の技法編－	香川大学
9月27日(水)	始めよう！アクティブ・ラーニング型授業－協同学習・文章作成の技法編－	香川大学
9月27日(水)	初心者のためのクリッカー講座	香川大学
9月27日(水)	TA講習	高知大学
9月28日(木)～29日(金)	ファシリテーション力養成道場	高知大学

10月

10月26日(木)～28日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	香川大学
------------------	---------------------	------

11月

11月17日(金)～19日(日)	IRer養成講座	愛媛大学
11月9日(木)～10日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)第2回	愛媛大学

12月

12月14日(木)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学
12月25日(月)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学
12月25日(月)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学
12月25日(月)	学生参加型授業の技法	香川大学
12月中	スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学

1月

1月5日(金)	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学
1月12日(金)	シラバス・授業を改善しよう！	香川大学
1月18日(木)～19日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	愛媛大学
1月31日(水)	シラバスブラッシュアップワークショップ	高知大学

2月

2月19日(月)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	愛媛大学
----------	------------------------	------

3月

3月1日(木)	「アカデミック・スキル」をどう教えるか	香川大学
3月6日(火)	「日本語技法」をどう教えるか	香川大学
3月27日(火)	新任教員のためのリフレクションセミナー	高知大学
3月27日(火)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学
3月30日(金)	TA講習	高知大学
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学

平成29年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧

県名	大学等名	プログラム名	対象	実施日	日時	講師担当校	講師
徳島	徳島工業短期大学	現代学生の理解と関わり方	SPOD 全加盟校	4月21日(金)	平成29年4月21日(金) 13:30～15:00	高知大学	杉田 郁代 先生
愛媛	新居浜工業高等専門学校	アクティブラーニング実践(試験紙法)	学内	5月30日(火)	平成29年5月30日(火) 14:30～16:00	高知大学	立川 明 先生
香川	香川短期大学	現代学生の理解と関わり方	SPOD 全加盟校	5月30日(火)	平成29年5月30日(火) 16:30～18:30	愛媛大学	野本 ひさ 先生
愛媛	今治明德短期大学	職員のための経験学習	学内	6月1日(木)	平成29年6月1日(木) 14:30～16:30	愛媛大学	高橋 平徳 先生
高知	高知学園短期大学	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	SPOD 全加盟校	6月6日(火)	平成29年6月6日(火) 15:00～17:00	高知大学	杉田 郁代 先生
愛媛	弓削商船高等専門学校	高専における学生クライシスとの対峙	学内	6月8日(木)	平成29年6月8日(木) 14:00～15:40	阿南工業高等専門学校	坪井 泰士 先生
愛媛	松山大学・松山短期大学	現代学生の理解と関わり方	SPOD 全加盟校	6月8日(木)	平成29年6月8日(木) 15:30～17:00(予定)	愛媛大学	野本 ひさ 先生
徳島	阿南工業高等専門学校	アクティブラーニング実践(試験紙法)	学内	6月13日(火)	平成29年6月13日(火) 14:40～16:40	高知大学	立川 明 先生
愛媛	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	現代学生の理解と関わり方	学内	6月29日(木)	平成29年6月29日(木) 15:00～16:30	愛媛大学	野本 ひさ 先生
香川	香川大学	大学職員に必要な能力と専門性	SPOD 全加盟校	7月28日(金)	平成29年7月28日(金) 13:30～15:30	愛媛大学	吉田 一恵 先生
愛媛	愛媛大学	アクティブ・ラーニング入門	SPOD 全加盟校	9月4日(月)	平成29年9月4日(月) 13:30～15:30	徳島大学	吉田 博 先生
香川	香川県立保健医療大学	大学職員に必要な能力と専門性	SPOD 全加盟校	9月4日(月)	平成29年9月4日(月) 15:00～17:00	愛媛大学	吉田 一恵 先生
高知	高知工業高等専門学校	アクティブラーニング実践(試験紙法)	SPOD 全加盟校	9月5日(火)	平成29年9月5日(火) 13:30～15:00	高知大学	立川 明 先生
徳島	四国大学・四国大学短期大学部	大学教職員のための危機管理	学内	9月5日(火)	平成29年9月5日 時間未定	愛媛大学	吉田 一恵 先生
香川	高松大学・高松短期大学	大学職員に必要な能力と専門性	学内	9月11日(月)	平成29年9月11日(月) 13:00～16:00	愛媛大学	吉田 一恵 先生
高知	高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	チームビルディング	学内	9月11日(月)	平成29年9月11日(月) 13:30～16:30(予定)	愛媛大学	村田 晋也 先生
徳島	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	現代学生の理解と関わり方	SPOD 全加盟校	9月13日(水)	平成29年9月13日(水) 時間未定	愛媛大学	野本 ひさ 先生
愛媛	環太平洋大学短期大学部	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り	学内	9月19日(火)	平成29年9月19日(火) 13:00～15:00	愛媛大学	小林 忠資 先生
愛媛	愛媛県立医療技術大学	授業アンケートを見直しませんか？ ～アンケートの効果的实施と活用方法～	学内	12月25日(月)	平成29年12月25日(月) 13:30～15:30	高知大学	塩崎 俊彦 先生
徳島	徳島大学	大人数講義を魅力的にするテクニック	SPOD 全加盟校	3月9日(金)	平成30年3月9日(金) 13:30～15:30	香川大学	佐藤慶太 先生
高知	高知大学	教学IR入門	調整中	調整中	調整中	愛媛大学	清水 栄子 先生

平成 29 年度大学人・社会人としての
基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）【新任職員研修】
実 施 要 項

1. 目 的

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することを目的とする。

2. 内 容

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）のうち、6つの研修科目を実施する。

- ・高等教育職員入門
- ・メンタルヘルス・セルフケア
- ・コミュニケーション入門
- ・ビジネスマナー入門
- ・キャリア形成入門
- ・危機管理入門

3. 対象者

新任職員（平成 28 年 4 月 2 日～平成 29 年 4 月 1 日採用の職員）

4. 期 間

平成 29 年 5 月 10 日（水）～5 月 12 日（金）

5. 場 所

愛媛大学総合情報メディアセンター 1 階 メディアホール
（松山市文京町 3）

6. 日 程

別紙「研修日程表」のとおり

7. 担当講師

愛媛大学	教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	丸山 智子
愛媛大学	教育学生支援部 愛媛大学 SD 統括コーディネーター		吉田 一恵
愛媛大学	医学部人事労務課	課長	久保 秀二
愛媛大学	総務部経営企画課経営企画チーム	チームリーダー	渡邊 友樹
高知大学	医学部・病院事務部学生課教務係	係長	野口 悟
松山大学	経営企画部経営企画課	係長	中村 詩乃

8. 受講定員

80 名

9. 修了証書

研修を修了した者には修了証書を交付する。

10. 主 催

愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

平成29年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ)【新任職員研修】 日程表

【愛媛大学 総合情報メディアセンター1階 メディアホール】

	9:00	12:00	12:30	13:00	13:20	15:50	16:00	17:00	18:00
1日目 5月10日 (水)			受付	開 講 式 ・ オ リ エン テー シ ョ ン	【高等教育職員入門】 1 大学(高専)を取り巻く環境 2 大学(高専)職員とは 3 総括 【講師:愛媛大学 吉田 一恵】	休憩	【メンタルヘルス・セルフケア】 1 メンタルヘルスの重要性 2 自己のメンタルヘルスの状況 【講師:愛媛大学 久保 秀二】		情報交換会
2日目 5月11日 (木)		【コミュニケーション入門】 1 コミュニケーションの基本 2 コミュニケーションの手法 3 コミュニケーション演習 4 まとめ 【講師:愛媛大学 渡邊 友樹】	昼食		【ビジネスマナー入門】 1 ビジネスマナーの基本 2 身だしなみ, あいさつ, 言葉遣い 3 来客者への応対, 電話対応 【講師:松山大学 中村 詩乃】		4 報告・連絡・相談の重要性 5 文書作成のポイント 6 メールにおけるマナー		
3日目 5月12日 (金)		【キャリア形成入門】 1 今までを振り返って多面的に考える自分のキャリア 2 自己理解する 3 これからの考える 4 明日から動こう 【講師:高知大学 野口 悟】	昼食		【危機管理入門】 1 危機管理の基本について 2 リスクマネジメントについて 3 危機発生時にとるべき行動とは 【講師:愛媛大学 吉田 一恵】	休憩	研修の振り返り 【講師:愛媛大学 丸山 智子】	閉講式	
	9:00	12:00	13:00		15:00	15:10	16:00	16:30	17:00

※研修スケジュールは, 受講者数・進行によって変更する場合があります。

平成29年度次世代リーダー養成ゼミナール実施要項

1. 目 的

将来、所属大学でのトップリーダーや高等教育界のリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成する。

2. 到達目標

【知識】

大学等の経営に必要となる以下のことができる。

- ・高等教育に関する理論・知識を応用することができる。
- ・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する理論・知識を応用することができる。
- ・リーダーシップに関する理論・知識を応用することができる。

【技能】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要となる以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行うことができる。
- ・企画策定・提案を行うことができる。
- ・判断を行うことができる。
- ・折衝・調整を行うことができる。
- ・後継者育成を行うことができる。

【態度】

- ・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。
- ・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

※本ゼミナールの詳細については、別紙1「次世代リーダー養成ゼミナール概要」及び別紙2「次世代リーダー養成ゼミナール科目一覧」をご参照ください。

3. 開催日

(第1回) 平成29年 6月 1日(木)～ 3日(土)(愛媛大学)

(第2回) 平成29年 7月20日(木)～22日(土)(高知大学)

(第3回) 平成29年10月26日(木)～28日(土)(香川大学)

(第4回) 平成30年 1月18日(木)～19日(金)(愛媛大学)

※次世代リーダー養成ゼミナールのプログラムは、2年間で2泊3日×8回実施する。

ただし、全体として必要時間数が確保される場合は、1泊2日とする場合がある。

※本ゼミナールのプレプログラムとして「スタッフ・ポートフォリオ作成ワークショップ」を平成29年5月19日(金)に愛媛大学にて実施する。

4. 場 所

(第1回) 愛媛大学城北キャンパス 愛大ミューズ3階(愛媛県松山市文京町3)

5. 対象者

以下の条件を満たす者。

- ・40歳以下を原則とする。
- ・各機関の長が推薦する者。
- ・SPOD加盟校の職員。ただし、定員に達していない場合は、SPOD加盟校外の職員を受け入れることができる。
- ・スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる者。
- ※別紙3「スタッフ・ポートフォリオ記入例」をご参照ください。
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（2,000字程度）で提出できる者。
- ・SPOD研修プログラムのレベルⅡ程度を修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。

※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。

※2年間で修了要件である全日程の9割以上出席可能な者を推薦してください。

6. 募集人員

12名

- ・各機関より複数受講を希望する場合は、優先順位を付す。
- ・SPOD加盟校外の職員の推薦は、1機関あたり2名までとする。

7. 研修料

SPOD加盟校の職員は無料。SPOD加盟校外の職員は別に定める研修料が必要になります。

8. 講師

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	副室長・教授	中井俊樹
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	講師	清水栄子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	丸山智子
愛媛大学教育学生支援部	愛媛大学SD統括コーディネーター	吉田一恵

外部講師（予定）（所属及び職名は、平成29年3月1日現在）

桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科	教授	山本眞一
京都外国語大学総合企画室	次長	山崎その
名古屋大学高等教育研究センター	准教授	中島英博
福岡大学教育開発支援機構	講師	橋場 論

9. 修了要件

- ・全日程の9割以上出席。
- ・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）を完遂し、合格すること。
- ・最終口頭試問で合格すること。
- ・全てのプログラムについてA～Dの4段階で評価し、総合判定A～Cの評価を得ること。

※SPOD加盟校の職員は、修了後にSPODのSD講師に登録すること。

10. 主 催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

平成29年度次世代リーダー養成ゼミナール（第1回）日程表

日時：6月1日（木）～3日（土）

場所：愛媛大学城北キャンパス 愛大ミューズ3階

時間	（1日目）6／1（木）		（2日目）6／2（金）		（3日目）6／3（土）		時間	
	7期生	8期生	7期生	8期生	7期生	8期生		
9:00					S D論 京都外国語大学総合企画室 次長 山崎 その		9:00	
S D実践Ⅰ （プログラム構築） 清水・吉田			研究方法論Ⅰ （課題発見と解決） 丸山					
メンタリング実践Ⅰ （7期生が8期生へメンタリング） 清水								
昼食			昼食					
10:30							10:30	
12:00							12:00	
13:00	開講式				インストラクション・スキルⅠ （プレゼンスキル） 自大学プレゼン発表 清水・丸山・吉田		13:00	
13:30	次世代リーダー養成ゼミナール 受講にあたって （8期生より決意表明）		研究方法論Ⅲ （調査票の作成） 清水				13:30	
14:00	S D実践Ⅰ （プログラム構築） 清水・吉田	リーダー シップ論Ⅰ 丸山	高等教育論 中井				14:00	
15:00							研究方法論Ⅳ （データ分析基礎） 清水	15:00
16:00	S D実践Ⅱ （マイクロ ティーチング） 清水・丸山・吉田	インストラクション・ スキルⅠ （プレゼンスキル） 吉田	プロジェクト実践Ⅱ （7期生による進捗状況発表） 清水・丸山・吉田		プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導） 清水・丸山		16:00	
17:30	振り返り							
18:00							18:00	
			19:00頃 情報交換会					